

会 議 結 果 の お 知 ら せ

宮古市商業振興ビジョン策定委員会第二回委員会を次のとおり開催しました。

令和6年11月20日

宮古市商業振興ビジョン策定委員会

- 1 開催日時
令和6年11月6日（水） 午前10時00分～午前11時30分
- 2 開催場所
イーストピアみやこ 2階 多目的ホール
- 3 議題
(1) 宮古市商業振興ビジョン等について（案）
(2) その他
- 4 会議の概要
議題について説明した。
詳細は、別添のとおり
- 5 問い合わせ先
産業振興部 産業支援センター 商業労政係 電話0193-68-9067

宮古市商業振興ビジョン策定委員会第二回委員会 開催結果

1 出席者（9名）

大内毅委員、大越亮一委員、中崎さつき委員、山崎幸穂委員、大森進委員、菊地理会子委員、門坂知実委員、坂下隆一委員、佐香英一委員

2 欠席者（3名）

佐藤功委員、山本悦治委員、藤田ルリ子委員

3 事務局出席者（4名）

産業振興部長 岩間健

産業支援センター所長 山崎義剛

産業支援センター商業労政係長 工藤 翠

産業支援センター商業労政係主事 古舘理子

4 傍聴者

なし

5 議事等

(1) 宮古市商業振興ビジョン（案）について

宮古市商業振興ビジョンの策定方針について事務局から説明。審議のうえ承認された。

(2) その他

宮古市商業振興ビジョン意見提出用紙について事務局から説明。了承いただいた。

質疑応答内容

質問・意見	回答
【議題(1)「宮古市商業振興ビジョン（案）について」】 （委員） 指標の年間商品販売数について、「年間商品販売数」から「年間商品販売額」に修正していただきたい。 また、小学生の保護者を対象とした買い物に係るアンケート等を活用し市民の消費動向を把握すべきである。 （委員） 商店や個人企業等に様々な情報を発信するために商工会議所の会員数を増やす、というように詳細に記載しなくても構わないが、目的を明確にしておかないと、目標値にする意味がないと感じる。 （委員） 現在、みちのくトレイルの関係で外国人ハイカーを多く見かけるし、客船も来年度は12隻来航するということであるが、各ビジョンでインバウンド対応に係る目標値を定められているので良いと思う。	（事務局） 令和6年11月から12月にかけて市内全小学校の高学年の保護者を対象とした買い物に係る調査を行う。調査は、過去のビジョン策定委員会開催期間中にも実施したものであるためその数値を目標値として検討させていただく。 （事務局） 商工会議所会員数は、個人・法人関わらず、また、創業スクール卒業生も会員になる方が多くいるので、指標として使わせていただいた。会員以外の事業者数や事業継続のための情報を各事業者に届くような取組みは必要と考える。 （事務局） 商店街では、クルーズ船が来航することで、翻訳アプリを活用したり、店頭案内を多言語化したりとインバウンド対応に創意工夫がなされていると感じている。その様な取り組みを通して、自身の店舗を見つめ直し、個店の更なる魅力向上を図っていただきたい。 その様な中で、客船の乗客は来航地について下調べしてくる方もいるようなので、普段からどのように発信しているかというのが重要だと感じる。 なお、ビジョンの内容について2点ほど改めて説明したい。1点目は先ほど話した個店の魅力アップの取り組みについて今後も力を入れていきたい。2点目は事業承継についてだが、現在、宮古市としての取り組み方針を、商工会議所と協議している状況である。これ

【議題(2) その他】 「宮古市商業振興ビジョン意見提出用紙」について事務局から説明。提出いただくことで了承いただいた。	らは新たなビジョンの期間の中で、継続して実態の調査を行っていく。 (事務局) 資料1のNo.1に「地元の愛される商店街」というのがあるが、このような視点の表現をビジョン内に加えた方が良かったと思った。言葉そのものだけではなく、考え方としても追求していかなければならないと感じ、この意見を注目させていただいた。
--	---